

科目名称	地域理学療法学
授業コード	BG333
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	奥田 裕, 久保谷 美恵子, 荒尾 雅文, 戸笈 みどり
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	地域や在宅での理学療法の基本的概念やシステム、理学療法の展開などについて講義する。また、地域および在宅での理学療法の評価方法、指導方法についての講義を行う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	臨床の現場で長年理学療法士として従事してきた教員が、その経験を活かして、地域や在宅での理学療法についての講義を行う。
到達目標	<p>本学が掲げるディプロマ・ポリシーの理学療法学に関する知識の習得を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域理学療法に関する理学療法士国家試験に準拠した専門的知識を習得できる。 ・理学療法士に必要な地域・在宅の概念およびそれを支えるシステム、その地域在宅における展開について理解し、説明ができる。 ・地域における理学療法の実践について理解することができる。
計画・内容	<p>第1回 地域リハビリテーションの概念 担当：奥田</p> <p>第2回 制度と関連法規 担当：奥田</p> <p>第3回 地域における社会資源 担当：奥田</p> <p>第4回 地域における社会資源 担当：奥田</p> <p>第5回 地域包括ケアシステム 担当：奥田</p> <p>第6回 他職種との協働 担当：奥田</p> <p>第7回 他職種との協働 担当：奥田</p> <p>第8回 介護保険における理学療法 担当：奥田</p> <p>第9回 在宅医療に関わる知識 担当：奥田</p> <p>第10回 生活支援と介護予防 担当：奥田</p> <p>第11回 生活支援と介護予防 担当：奥田</p> <p>第12回 地域理学療法の実践例 担当：荒尾(理学療法士)</p> <p>第13回 地域理学療法の実践例 担当：荒尾(理学療法士)</p> <p>第14回 地域包括支援センターの役割 担当：久保谷(社会福祉士,主任介護支援専門員)</p> <p>第15回 地域での介護予防の実践例 担当：戸笈(社会福祉士,主任介護支援専門員)</p>
授業の進め方	スライドや配布資料を使用し、教科書に沿って講義する。 個人課題、課題に対するグループ学修も実施。
能動的な学びの実施	講義だけではなく、グループ学修や演習も取り入れることで、積極的な参加が期待される。
授業時間外の学修	<p>予習：授業前に教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと（各回1～2時間程度）</p> <p>復習：教科書・資料を見直し、講義ノートを整理すること（各回1～2時間程度）</p>

教科書・参考書	【教科書】浅川育代 編集 「ビジュアルレクチャー 地域理学療法学 第2版」医歯薬出版 【参考書】重森健太,他編集「PT・OTビジュアルテキスト 地域リハビリテーション学 第2版」羊土社 牧田光代,他編集「地域理学療法学 第4版 (標準理学療法学 専門分野)」,医学書院
成績評価方法と基準	定期試験(40%)と提出課題(60%)により評価する。
課題等に対するフィードバック	課題に関しては授業内でフィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus squareを参照
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	オンライン上で双方向性の講義を行う。 講義期間中の課題(60%)、定期試験の代替としての課題(40%)により評価する。